



瓊浦高等学校  
学校通信  
第 89 号

令和2年1月31日発行  
電話 095-826-1261  
FAX 095-820-5245

# 瓊浦窓の

## 「夢や希望のある毎日を……」

校長 宮崎 芳之

新年、明けましておめでとうございます。いよいよ令和2年のスタートです。

昨年は新しい時代「令和元年」の幕開けでした。令和を英語に訳したら「ビューティフルハーモニー（美しい調和）」ということでしたが、瓊浦高校はそれにふさわしい活躍をしたと思っています。

就職、進学、部活動。それにボランティア活動を通しての地域貢献等々、バランスのとれたまさしく調和のとれた、しかも質の高い教育成果をあげることができ、地域の皆様からも高い評価をいただいているところです。

さて、今年の子年。十二支のサイクルの始まりで、植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期だそうです。未来への大いなる可能性を感じさせます。

また、ねずみは「ねずみ算」と言う言葉があるほど、子どもをどんどん産んで数を増やしていくことから「子孫繁栄」の象徴でもあります。日本の経済界にも「子年は繁栄」という格言があり、株価が上昇する傾向にあると言われているようです。瓊浦高校にとっても今年が更なる繁栄の年となるよう、「チーム瓊浦」で頑張りたいと思います。

ところで、皆さんは今年初夢を見られたでしょうか。我々は、自分にとって都合のよい夢を見たとき、それが正夢であって欲しいと思いたくなります。

江戸時代から、初夢は「一富士、二鷹、三茄子」が人々の願いであったようです。

「富士」は、日本一の美しく高い大きな山で、雄大な人生を象徴しており、「不死」に通じるので不老長寿を意味します。

「鷹」は、鳥の中の王様と言われ、負けることを知らず、また、よい物をつかみ取る、すなわち「幸せをつかみ取る」ということを象徴しています。

「茄子」は実がよくなるので子孫繁栄を意味し、「成す」（成就する）という意味にも通じています。

そこで、昔から、この三つのうち、どれかを初夢に見ると、大変縁起がよく、その年は、大きな幸せが約束されると言い伝えられています。昔の人は、夢が持つ神秘性と、夢を見つつまり、希望を持つということを大切にしてきたのです。

夢・希望をもつということは、人間に与えられた特権だと思います。常に大きな志を持ち、理想を心に描き、それに向かって歩み続けるのが人間として尊い生き方だと思います。夢や希望があってこそ毎日の生活が充実します。

瓊浦高校は、夢や希望を実現させるために、多くのチャンスが用意されている素晴らしい学校だと思っています。現に努力すれば日本一だって狙える学校です。自分を磨くには素晴らしい環境です。それをうまく生かし切らなければいけないと思います。

そのためにも、それぞれが自分の夢を実現するための目標をしっかりと持ってほしいと思います。そして、みんなで「日本一楽しい学校」を作って行きたいと考えています。

生徒諸君には、令和2年の新しい年を迎えるにあたり、これまでの自分を見直し、心機一転、「夢や希望のある毎日を送ろう」と決意を新たにしてほしいと思っています。次へのさらなる飛躍を目指して、すばらしい3学期になることを期待します。

保護者の皆様にもどうか瓊浦高校へのご支援のほど、よろしく願いいたします。

### 今年の目標

毎年恒例、3学期始業式での目標宣言。今年も各学年の代表3名が、全校生徒の前で堂々と発表しました。

#### 龍馬コース機械科1年A組 中本 優孝

今年の目標は、「Beyond myself (ビヨンド マイセルフ) 自分を超越する」です。

まず学習面では、苦手教科の復習に重きを置き、得意教科にも注力することで全体的な学力の向上を目指します。

次に部活動です。私の所属する吹奏楽部は、練習の甲斐あって、昨年12月のアンサンブルコンテストにおいて九州大会出場が決まりました。しかし、まだまだ自分の力不足も感じているため、目的意識を忘れずに練習を積み重ねていきたいと思っています。

最後に生活面です。今年は、2年後に控えた進路決定に向けて意識を高めていく必要があると考えています。今のうちから自分を見直し、挨拶や礼儀作法を習慣化して、当たり前のことが当たり前に行えるように心掛けていきたいと思っています。

以上の三点いずれにおいても、達成するために最も大切なことは「継続すること」だと思います。続けなければ自分の力にはならないという思いを忘れず、今年一年を過ごし、自分自身を大きく成長させたいと思います。

#### 機械科2年C組 石川 蒼天

私の目標は勉強と部活動の両立です。学業面では、定期的に行われる進路模試や学年末考査に向けてしっかりと対策をし、今よりも高い点数を取っていきたくと思っています。また、2年生の3学期は3年生の0学期ともいうので、将来の事を真剣に考えて、進路実現ができるように頑張ります。部活動では、6月に行われる県高総体に向けて個人優勝と団体でも3連覇を目指して日々努力し、必ずインターハイの切符を取って上位を目指せるような選手になりたいです。また、私は生徒会長として瓊浦高校をより良い高校にしていきたいと思っています。

#### 龍馬コース普通科科3年A組 古川 愛夏

私は、4月に長崎県立大学看護栄養学部看護学科に入学します。大学入学後は長崎の医療に貢献できる看護師になるために、特に地域医療について深く学んでいきたいです。そして、勉強以外ではボランティア活動に積極的に参加したいと思っています。また、来週大学入試センター試験があります。残りの日々の授業を大切にして、本番では自分の力を十分に発揮できるよう頑張りたいです。

## センター試験

大学入試センター試験が1月18日(土)・19日(日)に実施され、本校からは21名の生徒が長崎総合科学大学の受験会場で試験に挑みました。生徒達は緊張した様子でしたが、校長先生を始めとする多くの先生方の激励もあり、落ち着いて試験に取り組むことができたようです。現在、2月末の二次試験に向けて猛勉強中です。



## 機械科 課題研究発表会

1月28日(火)に第16回機械科課題研究発表会が行われました。3年生はいくつかの班に分かれ、それぞれ目標のもとテーマを定めて1年間活動してきました。ミニチュアログハウス・L型分離ベンチ・剣道打ち込み台・スクワット台・伝動モグラマーク・陶芸・坂本龍馬像などを製作したモノ作りの各班、自身のスキルアップを目指し活動したCAD班やパソコン班、昨年から引継ぎ、缶サットの機能向上を行ったJAXA班、長崎特別支援学校からの依頼を受け、電動車いす練習機と知育玩具を製作した特別支援連携班など、それぞれの班が成果を発表しました。

この課題研究は、回を重ねるごとに活躍の幅が広がっており、特に今年は瓊浦高校の枠から飛び出して長崎特別支援学校と連携・交流を行いました。この交流会の様子がテレビ等のメディアに取り上げられるなど、課題研究を通じた生徒たちの大きな可能性を感じる事ができました。また、後輩たちも発表をとても真剣に聴いており、今後の更なる飛躍を期待させる発表会となりました。



## 【部活動成績】

バドミントン部男子  
令和元年度全九州高等学校選抜  
バドミントン競技大会 男子学校対抗戦

優勝

男子ダブルス  
町田 脩太(普2D)・永淵 雄大(普2D)

優勝

田中 市之介(普1D)・柳川 蓮(普1D)  
準優勝

男子シングルス  
永淵 雄大  
中村 恵大(普2D)

優勝  
準優勝

卓球部男子  
令和元年度全九州高等学校  
新人卓球選手権大会 男子学校対抗

第4位

## 情報ビジネス科 課題研究発表会

1月28日(火)3・4時間目に情報ビジネス科の成果発表が行われました。これは情報ビジネス科の1・2年生を対象に、3年生が自らの進路状況や3年時に取り組んだ課題研究について発表するもので、今年度は6名がそれぞれの成果を披露してくれました。

今年の3年生は、博多阪急の販売実習や中学校でのサイバーセキュリティボランティアなど多岐に渡る活躍を見せました。進路においても国公立大学の合格や競争率が高い事務職の内定を勝ち取るなど素晴らしい成果を上げています。それらの自分の経験をもとに、今「何を考え、何をすべきか」を後輩に熱心に説いていました。1・2年生にとっても自分の進路を考えるいい時間になったと思います。



## 第2回 けいほ展

昨年に引き続き、長崎県美術館で展覧会を開催いたします。生徒たちの活動の様子や努力の成果をぜひご覧いただきたく、ご来場お待ちしております。

開催日：2月11日(火)～16日(日)  
場所：長崎県美術館 県民ギャラリー  
時間：午前10時～午後6時まで  
(最終日は午後4時30分まで)  
入場料：無料



【展示内容】亀山焼・ハタ・美術部・写真部・地域開放講座・商品開発等

エイサー演舞 16日(日) 午後3時10分 美術館エントランスロビー  
吹奏楽部演奏 16日(日) 午後3時30分 美術館エントランスロビー